

木ネジ下穴型紙

※ダウンロード版

アタッチケース型版／呼径100mm／呼径125mmホース版

下穴をあけなくても取り付けできますが、下穴を開けるときれいに仕上げるができます。下穴をあけなくても、この型紙で木ネジを差し込む際の目印をつけることができます。下穴ドリルは直径 2.5 ミリが目安ですが材質によります。端材で試すのがオススメです。1×6材の寸法は 19mm×140mm ですが寸法にバラツキ、歪みがあり、型紙が合わないことがあります。部品を1×6材に実際にあてる現物あわせてビスの目印をつける方が正確な場合があります。

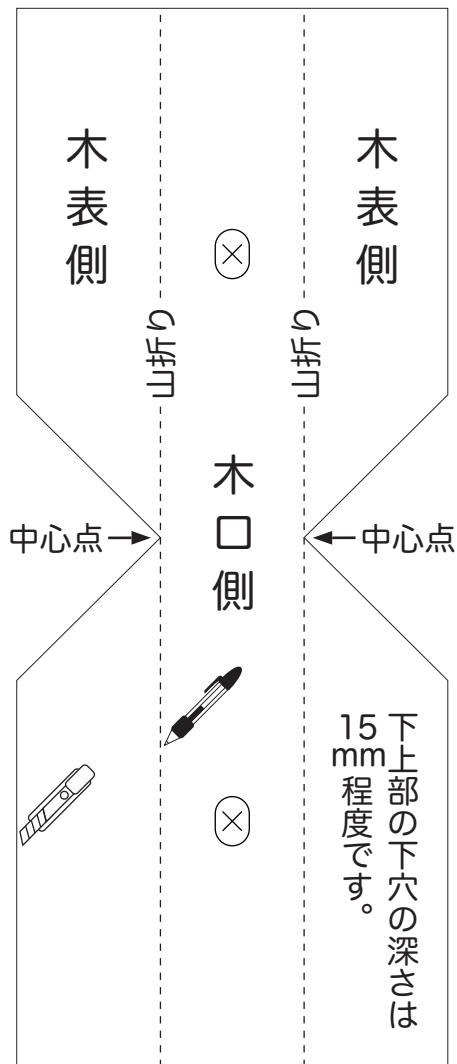
①型紙の切り出し方

- ①定規を使い、点線をボールペンでなぞってください。
まっすぐな折り目がつき、きれいに折ることができます。
- ②定規を使い、実線をカッターで切りだしてください。
- ③切り出したら、ボールペンでつけた折り目を山折りします。

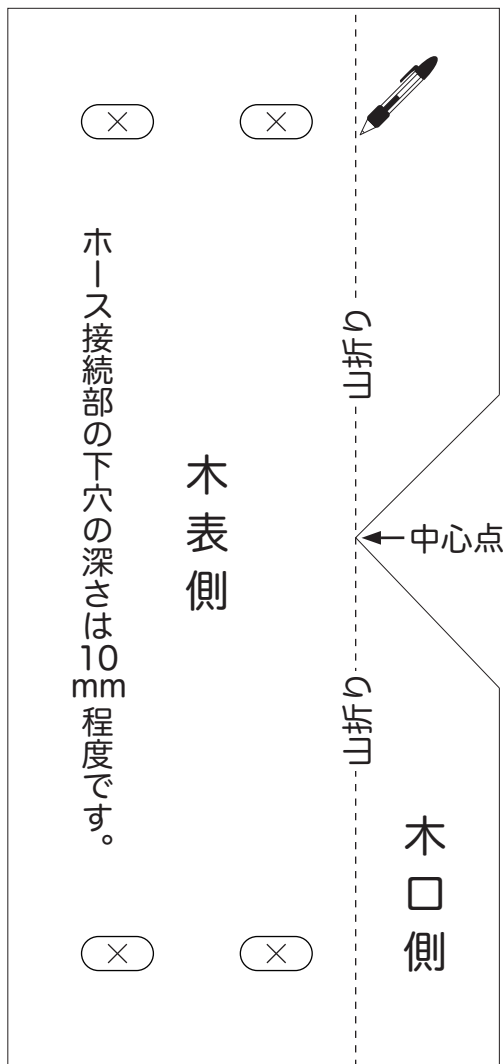
※材木の部分名称



■上部差込部、下部受け部(共通)の下穴型紙

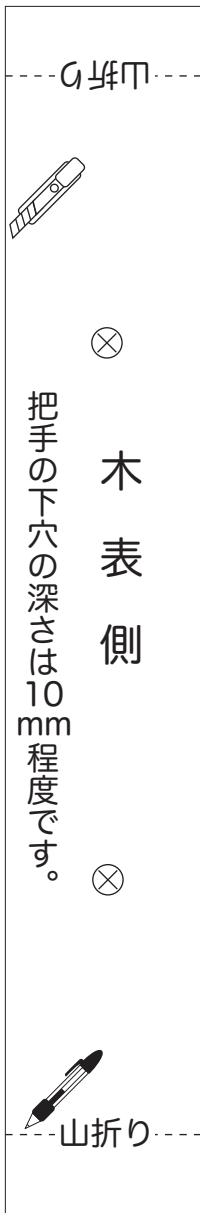


■ホース接続部(上下共通)の下穴型紙



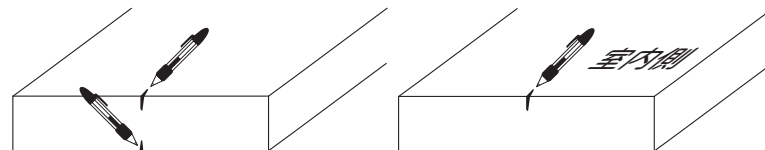
■把手の下穴型紙

※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。



②型紙の使い方

- ①1×6材を定規で測り、中心に目印をつけます



上部差込部、下部受け部には裏表に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

- ②型紙を下写真のように1×6材にあてて、バツ印⊗をボールペンで刺して印をつけます。1×6材の角に、型紙の折り目をしっかりあてるのが正しい位置に印をつけるコツです

※写真は1×4材ですが、使い方は同じです。

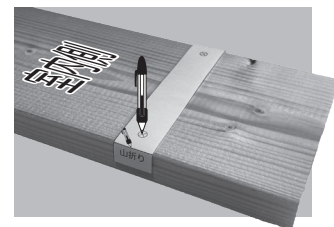
■ホース接続部の型紙の当て方



■上部差込部と下部受け部の型紙の当て方



■把手の型紙の当て方



- ③ボールペンで印をつけた所に、下穴キリで適度な深さに下穴を空けます。下穴キリがない場合は、先の尖ったドライバーや千枚通しを刺して穴をあけるだけでも下穴の代わりになります。



縮小拡大はせず実寸で印刷してください